

みほそ

平成二十九年一月一七日
発行者 校長・園長 與古田思信



明けましておめでとうございます

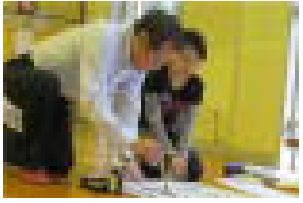
新年明けましておめでとうございます。新たな年を迎え、身の引き締まる思いです。今年も、知・徳・体の調和の取れた児童の育成をめざし、職員一同心を一つに教育活動に邁進していきます。今年も、本校教育に対し、ご協力をお願いします。

三学期は、一年のまとめとして大切な学期です。六年生は小学校最後の三ヶ月です。先生やお友達と一緒に城前小学校での素晴らしい思い出をいっぱい作ってほしいと思います。また、一年生から五年生も次の学年に進む大切な学期です。幼稚園(ゆりぐみ)は、小学校に進学する準備の学期です。幼稚園(たんぼぼ)も年長児になる最後の学期です。子ども達一人ひとりが、一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

始業式の校長あいさつでは、続けることの大切さ」をお話しました。新年に当たり、子ども達はそれぞれ今年の目標(がんばる事)を決めたと思います。それを実現するのは、目標に向かって毎日頑張ることです。あわせて2つのことも話しました。一つ目は、8時までに歩いて登校」を実践してほしいことです。歩いて8時までに登校する事によって、頭や体を目覚めさせ、学校での活動や学習をスムーズに行う事が出来ます。二つ目は、考えて行動する」ということです。学校では、授業や清掃、部活など様々なことがあります。いつでも 自分は、どのように行動すればよいか」を考えることが大切だと思います。これからも、子どもの成長を見守っていききたいと思えます。

書き初め会

一月十日に書き初め会を行いました。新年のすがすがしさの中でどの子も真剣な表情で、書を書いていました。書き初め会には、伊波良明市議、根神孝枝さん、佐次田恵子さんが講師として指導して頂きました。たいへんありがとうございました。



「ありがとうの手紙」作文コンクール

一月十二日、うるま市青少年健全育成協議会主催の「ありがとうの手紙」作文コンクールに表彰式がありました。本校から、次の三人が受賞しました。家族や周りの人々に感謝する気持ちは大変素晴らしいことです。いつまでも、優しい気持ちで大切にしていきたいと思えます。受賞したみなさんおめでとうございます。

食育の日十九日はお弁当持参

毎月十九日は、食育の日です。食育基本法の前文において、食育は、生きる上での基本であって、教育の三本の柱である知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置付け、様々な経験を通じて、『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」としています。

本校では、学期一回、子どもがお弁当作りをお手伝いする活動をお願いしています。一学期は「春の遠足」、二学期は「運動会」でお弁当作りを手伝ってもらいました。そして、三学期は、一月十九日に親子で作ったお弁当を持参してもらうことにしています。学年により、手伝いできることは異なると思いますが、お弁当作りを手伝いすることで、食に対する関心を深めることができると思います。

保護者の皆様には、お手数になると思いますが、ご理解とご協力をお願いします。

文部科学大臣賞受賞

▼このたび、MOA美術館全国児童作品展で文部科学大臣賞(学校奨励賞)を本校が受賞することになりました。▼これは、全国の小学校から五校しか選ばれない快挙です。

▼城前小学校は、毎年同作品展に多くの子が応募し、MOA美術館奨励賞も毎年選出されています。また、いじゅの会による花の活け込みや本物の「東海道五十三次」による美育セミナーの開催を通し、豊かな心の育成を図ったことなどから選出されました。▼十二月二十日に島袋市長、栄門教育長を表彰し受賞の報告を行いました。二月十九日に、熱海のMOA美術館で表彰式があります。▼この賞は、いじゅの会の皆様をはじめ多くの方々のおかげで頂くことができました。感謝申し上げます。今後とも、子どもたちの豊かな心の育成を目指し教育を推進していきます。(與古田)